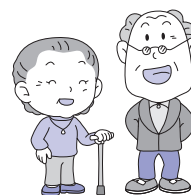




地域包括支援センターです

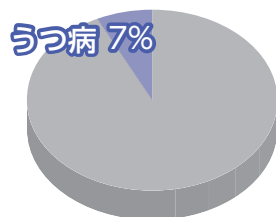
■ 問合せ 地域包括支援センター ☎ 47-8009
 地域包括サブセンター(今庄) ☎ 45-1170
 地域包括サブセンター(河野) ☎ 48-2260



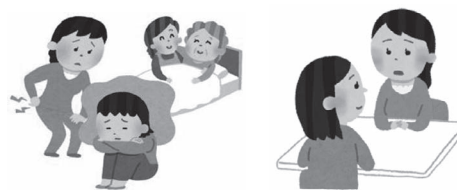
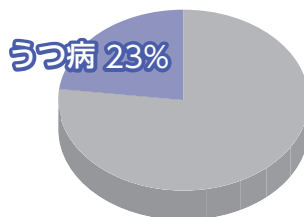
防ごう！「高齢者虐待」～虐待の背景を知ろう③～

高齢者虐待の背景には、介護疲れが大きな要因を占めています。介護のため自分のことは後回しになり、常に介護のことが頭から離れないという介護者も多いのではないのでしょうか？そのため、近年「介護うつ」に陥る人も多く、大きな社会問題として認識され始めています。厚労省の調査では、**介護者の約4人に1人が「介護うつ」状態にある**という実態も報告されています。特に同居で介護サービスを利用していない場合は、負担が大きく、自分で気づかいうちに「介護うつ」を発症しているケースも珍しくありません。そのため、上手にサービス等を活用しながら介護者自身が自分の時間を確保することは、ストレスを上手に発散し「介護うつ」予防のためにも大切なことです。介護者自身が「食欲がない。」「なかなか眠れない。」「気分が落ち込むことが多い。」ということが続くようなら、地域包括支援センターまでご相談ください。

通常の「うつ病」発症率



介護者の「うつ病」発症率



(参照：2005年 厚生労働省調査より)

○北朝鮮人権侵害問題啓発週間(12/10～12/16)

～忘れないで！北朝鮮による日本人拉致問題～

拉致問題の解決を始めとする北朝鮮当局による人権侵害問題への対処が国際社会を挙げて取り組むべき課題とされる中、法務省では、毎年12月10日から同月16日までを「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」と定めています。これらの問題を解決するには、拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題についての関心と認識を深めていくことが大切です。

○同 和 問 題

同和問題とは同和地区や被差別部落の出身であることや、そこに住んでいるという理由で結婚、就職等で差別を受けるという問題です。本人の責任ではないことを理由に差別をすることは、生きる権利を踏みにじることに繋がります。誤った偏見をなくし、広い視野でお互いの人権を尊重しましょう。



■ 問合せ 町民税務課 ☎ 47-8015